

駅から文化財マップ

～JR稲毛駅から京成稲毛駅～

近代の歴史遺産を巡る

明治から昭和まで



かつては、国道14号線のあたりが海岸線で、稲毛浅間神社の先はすぐ海でした。明治時代後半からは東京の保養地として栄えました。現在では、電気プランなどで有名な神谷伝兵衛の別荘や、清朝最後の皇帝、愛新覚羅溥儀の弟・溥傑が暮らした家などが残され、近代の歴史遺産を見ることができます。

★おすすめコース（所要時間約1時間）

JR 稲毛駅

明治天皇御野立所の碑

この地は、明治15年5月、明治天皇が近衛師団（天皇を守る軍隊）の対抗演習をご覧になるため、千葉市緑区東山科町に行幸された時に休息をされた所です。



神谷伝兵衛稲毛別荘

日本の「ワイン王」と言われた明治の実業家神谷伝兵衛の別荘だった建物です。大正7年の建築で、鉄筋コンクリート造りの建築物としては千葉市内で最も古く、国登録有形文化財に登録されています。

2階の床柱に葡萄の巨木を用い、天井を竹格子で組んで部屋全体を葡萄棚に見立てて仕上げている点など、ワイン王といわれた神谷伝兵衛を偲ばせる意匠が随所に施されています。



千葉トヨペット本社

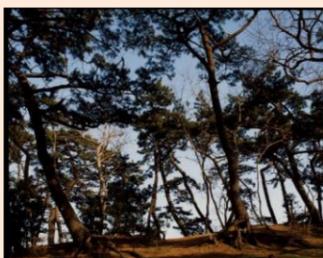
明治32年に旧日本勧業銀行本店として、現在の東京都千代田区内幸町に建築された木造2階建ての建物です。その後谷津遊園への移築を経て、昭和15年に中央区長洲へ移築され、昭和36年まで千葉市役所庁舎として使用されていました。昭和40年に現在地へ移り、千葉トヨペット本社として利用され、今に至っています。

設計は、妻木頼黄（明治時代の代表的建築家）と、武田五一で、国登録有形文化財に登録されています。



浅間神社

大同3年（西暦808年）富士浅間神社から勧請されたと伝えられる由緒ある神社です。この神社で行われるお神楽は、永正元年（1504年）に九州地方から伝わったもので、千葉県指定無形民俗文化財に指定されています。



また、浅間神社境内を含めた丘上一帯は、かつてはすぐ近くまで波が打ち寄せた眼望絶景の地であり、現在、千葉市の指定名勝地となっています。



千葉市ゆかりの家・いなげ

ラストエンペラーとして知られる愛新覚羅溥儀の実弟・溥傑（ふけつ）氏が、浩夫人と昭和12年に半年ほど新婚生活をおくったところです。

別荘地帯であった稲毛の歴史を今につたえる貴重な建造物として千葉市の地域文化財に登録されています。

